

学生との交流会を通して県内企業の魅力をPR

インターンシップ交流会を開催

中央会では、6月7日(水)に甲府市「ベルクラシック甲府」において、大学生とインターンシップの受入希望企業による「インターンシップ交流会」を開催した。

これは、大学生等インターンシップ推進事業(山梨県委託事業)の一環として実施したもので、インターンシップに興味を持つ学生が企業担当者と直接対話する機会を設けることで、受入企業の情報や就労体験プログラムについての理解を深め、学生のインターンシップ参加を増やすことが目的。

交流会は、学生が興味のある企業のブースを訪問し企業担当者から会社概要やインターンシップ情報等について説明を受けるフリーガイダンス方式で実施、多くの学生が複数の企業ブースを積極的に訪問し、担当者からの話に熱心に耳を傾けていた。

その後のフリータイムでは、学生が企業の若手社員と車座になって行う質問や意見交換を通じて交流を図る場を設けた。若手社員からは「仕事でやりがいを感じる時・働くようになって感じたこと」など今までの実体験を語ってもらい、学生からは「学生時代にどんなことを学び・活動していたのか」などについての質問がされるなど、テーブルごとに終始和やかな雰囲気学生・若手社員と

もに会話が盛り上がり積極的な交流が行われていた。

企業参加者からは「学生の生の声が聞ける良い機会となった。学生からインターンシップへ

の参加申込があった。」学生からは「企業担当者からの話を直接聞くことができ、就職活動に向けてとても貴重な体験ができた。」という前向きな感想が寄せられた。

中央会では、引き続きインターンシップの受け入れ企業を募集しており、2回目のインターンシップ交流会の開催を秋頃に予定している。中小企業の人材不足を背景に、インターンシップを通じた県内大学生等の県内就職や県外大学生等のU・Iターン就職の促進に継続的に取り組んでいく。



若手社員と学生の交流の様子